

広島市青少年センター指定管理者候補者の選定要綱

1 施設の概要

- (1) 施設名及び所在地
広島市青少年センター 広島市中区基町5番61号
- (2) 設置目的
青少年の徳性及び情操を養い、知識を高めるとともに、自主性を助長することによって、その健全な育成を図ることを目的とする。
- (3) 事業内容
ア 青少年のための研修会、講習会等を開催すること。
イ 青少年の団体活動を助長すること。
ウ 青少年のための生活相談を行うこと。
エ 青少年のためのレクリエーション活動を実施すること。
オ 青少年に音楽、演劇、映画等の文化財を提供すること。
カ 青少年に自主活動の場を提供すること。
キ 青少年に憩いの場を提供すること。
- (4) 現在の指定管理者
公益財団法人広島市文化財団

2 選定の概要

- (1) 指定管理者候補者名（予定）
公益財団法人広島市文化財団
- (2) 非公募とする理由
青少年センターは、令和5年3月に決定した「中央公園内の公共施設の集約化等に係る方向性」を踏まえ、リニューアルすることも文化科学館等に移転し、令和11年度中に一体的に運営を開始する予定としており、移転までの間、引き続き、安定的にサービスを提供するため、現在の指定管理者である公益財団法人広島市文化財団を非公募により指定管理者とする。
- (3) 指定期間
令和9年4月1日～令和11年3月31日
- (4) 管理の基準
ア 休館日
ア 火曜日
イ 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日の翌日（その日が火曜日に当たるときは、その直後の休日の翌日でない日）
ウ 8月6日
エ 12月29日から翌年1月3日まで
イ 開館時間 午前9時から午後9時まで
ウ 特記事項
申請者から休館日や開館時間の変更について提案を受ける。
- (5) 業務の内容等
ア 青少年センターの事業の実施に関すること。
イ 青少年センターの使用の許可に関すること（「緊急の場合（災害発生時等）は許可を取り消す。」などの条件を付す。）
ウ 青少年センターへの入場の制限に関すること。
エ 青少年センターの建物及び設備の維持管理に関すること。
オ その他市長又は教育委員会が定める業務
カ 特記事項
ア 使用料の収納事務を委託する。なお、収納事務に係る費用は、指定管理料に含めるものとする。
イ 申請者から市が示す基準値を達成するための利用促進策の提案を求める。
ウ 避難場所として使用される場合は、市からの指示等も受けながら、適切に対応すること。
- (6) 配置人員
ア 8人を標準とし、以下の職員を配置する。なお、この標準人員には収納事務に係る人員も含めるものとする。
イ 専門職員の配置
社会教育に関係のある事業（学校教育、社会教育関係団体、民間教育事業者等の事業など）についての経験が通算3年以上ある者2人以上を標準とする。
ウ 防火管理者の配置
管理監督的な地位にある者で、防火管理者の資格を有する者1人を必置とする。ただし、適正に防火管理業務が行える場合は、本部等の職員を当該施設の防火管理者とすることができる。

(7) 指定管理料の上限額（2年間分）

2億519万4千円

- ※ 指定期間中の賃金水準・物価水準の変動に応じて、2年目以降の指定管理料を変更する「スライド制度」を導入する。
- ※ 指定期間中に消費税及び地方消費税が引き上げられた場合は、指定管理料を増額するなどの適切な措置を講ずる。

(8) 指定管理料の支払方法

- ア 指定管理料は、原則、前金払とする。
なお、指定管理者の申出によって、概算払とすることができる。
- イ 支払は、原則、毎月払とする。

(9) 評価基準等

ア 欠格事項

申請日において、次のいずれかに該当する場合は、選定の対象外とする。

- (ア) 広島市競争入札参加資格者指名停止措置要綱に規定する指名停止の措置要件に該当している場合
- (イ) 広島市税、法人税又は消費税及び地方消費税を滞納している場合
- (ウ) 労働基準法等労働者使用関連法令に違反し、極めて重大な社会的影響を及ぼしている場合
- (エ) 障害者の雇用の促進等に関する法律に基づく障害者雇用率が達成されておらず、かつ、障害者雇用納付金も滞納している場合
- (オ) 広島市が設置する公の施設の指定管理者として指定を受けたが、その指定を取り消され、当該処分の日から2年を経過しない場合（ただし、不可抗力による場合を除く。）
- (カ) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第173条に規定する指定公金事務取扱者の要件を満たしていない場合

イ 評価項目

評価項目	適・否
<p>【1 市民の平等利用を確保することができること。】 〔評価のポイント〕</p> <p>① 利用者の平等かつ公平な利用を確保するための方策等が、条例、規則等に沿った適切なものとなっているか。 ② 障害者や高齢者などの施設の利用に当たっての合理的配慮について、適切な方策がとられているか。</p>	
<p>【2 施設効用が最大限に発揮されること。】 〔評価のポイント〕</p> <p>① 講座等の事業の内容は施設の設置目的に沿ったものになっているか。 ② 維持管理に関する計画が適切なものになっているか。 ③ 施設の利用促進に係る基準値が達成されるものになっているか。 ④ 利用者に対するサービスの向上を図れるものになっているか。</p>	
<p>【3 事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していると認められること。】 〔評価のポイント〕</p> <p>① 団体の経営は安定しているか。 ② 市が提示した適正な管理の実施が確保されるようになっているか。 ③ 個人情報等の管理体制は適正か。 ④ 緊急事態等に対応可能な体制になっているか。 ⑤ サービス内容や利用実態に関する実績が適切であるか。</p>	
<p>【4 管理経費の縮減】 提案額が上限額以下となっていること。</p>	

※ 上記評価項目のうちいずれか1項目に「否」がある場合は、選定の対象外とする。

ウ 本市が推進する行政施策に係る取組状況の確認項目

確認項目	取組状況
<p>【1 障害者雇用率の達成】</p> <p>① 障害者雇用率の達成状況</p>	達成・未達成
<p>② 過去2年度分の障害者雇用納付金を1年度分でも滞納していた場合</p>	該当・非該当
<p>【2 環境問題への配慮】 ISO14001 若しくは ISO14005 又はエコアクション21の取得</p>	有・無
<p>【3 男女共同参画・子育て支援の推進】</p> <p>① 次世代育成支援対策推進法に基づく「一般事業主行動計画」の策定</p>	策定済・未策定
<p>② 次世代育成支援対策推進法に基づく認定</p>	有・無
<p>③ 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく「一般事業主行動計画」の策定</p>	策定済・未策定
<p>④ 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定</p>	有・無

【4 地域貢献度】	該当・非該当
① 広島市内に本店がある場合	該当・非該当
広島市内に本店がなく支店がある場合	該当・非該当
広島市内にその他事業所等がある場合	該当・非該当
② 本施設の従事者のうち市内在住者の割合が8割以上の場合	該当・非該当
本施設の従事者のうち市内在住者の割合が5割以上で8割未満の場合	該当・非該当
本施設の従事者のうち市内在住者の割合が2割以上で5割未満の場合	該当・非該当